

目次

提言の要約	2
はじめに	3
第1章 発達障害とは	
(1) 発達障害の定義	3
(2) 発達障害の認知・理解度	4
第2章 障がい者支援制度	
(1) 障がい者に関する法整備	4
(2) 障がい者の雇用促進制度について	6
(3) 発達障がい者に対する支援施策	7
第3章 発達障がい者の就労等の状況	
(1) 発達障害に関する支援センターへの相談状況	8
(2) 本人と家族の障害受容支援	8
(3) 発達障がい者の雇用状況	9
第4章 課題	
(1) 発達障がい者とその家族の身近な相談場所の確保	9
(2) 就学～就労期における連続した支援	9
第5章 政策の提言	
(1) 発達障がい者を抱える家庭が相談できる身近な場所の確保	10
(2) 市町村のビジネスモデル構築による発達障がい者の受け入れ	11
おわりに	14

提言の要約

現状

- ☆十人十色の障害であるため、発達障害に関する理解が得られにくい
- ☆発達障害独自の手帳制度がない
- ☆発達障がい者からの相談は、青年期～成年期で増加している

課題

- ☆青年期以降の発達障がい者とその家族の交流の場が少ない
- ☆就労支援制度はあるが、なかなか就労に結びつかない

切れ目のない 発達障がい者の就労支援体制の構築

施策1

発達障がい者を抱える家庭が相談できる身近な場所の確保

施策2

市町村のビジネスモデル構築による発達障がい者の受け入れ